

3年生工業科生徒諸君

令和2年度「地理A」ニュース第11号

<この用紙は、個人ノートに\_\_\_月\_\_\_日(\_\_\_\_)に貼りました>

## 「地理A」3学期卒業考査に際しての確認事項

### 1 考査の範囲は

準拠ノート	P56～62 (ロシア他・アングロアメリカ)
教科書	p116～131
地図帳	当該箇所
共通問題	新入生事前学習課題の「全分野」

### 2 準拠ノートの提出が完了していること

期限(今月最初の授業)内に出せなかった者は、大至急提出のこと  
p56～62のうち、最低「作業」欄が全部終了していること。

1.14 授業担当者

### 3 課題についてはノートにすべて問題も写し回答するようこと。

## 地理A 課題プリント(1/18～1/22分) No.1 教科書P.126・127

準拠ノートを提出して、手元にない人がいますので、同じ内容文章にしてあります。なお、すでに授業で学習したクラスの方は復習してください。

作業 1 教科書 p126③図を見て、小麦産地、トウモロコシ・大豆の産地、混合農業地域のそれぞれについて、分布を把握せよ。

2 年降水量 500mm の線を把握せよ。

年降水量 500mm 以上の地域は、おもにアメリカ合衆国の(ア 東)側に広がっていて、それぞれの地域の環境に適した農業が行われているね。

確認 教科書を参考にして、次の文章に適語を記入し、内容を理解しよう。

■アメリカ合衆国では、自然環境に適した作物を栽培する①

が行

われている。中央平原からプレーリーにかけては② とよばれる  
混合農業地帯が広がる。とうもろこしは、家畜の飼料のほか、③  
への加工も増えている。

- 肉牛は、④ とよばれる企業的な農場で、集約的に飼育されてい  
る。
- 北東部の五大湖周辺は作物栽培に不向きであるが、大都市に近いという条件を生かし  
て、⑤ が発展した。
- アメリカ合衆国では、⑥ (農業関連産業) がさかんである。その  
なかでも⑦ とよばれる巨大穀物商社は、世界の農産物の流通をコン  
トロールする力をもっている。
- 農産物の大規模な集散地の一つである⑧ にある商品取引所の相場は、農  
産物の国際価格を決定するほどの影響力がある。
- 種子を開発するアグリビジネス企業が台頭し、このような企業は種子メジャーとよば  
れ、⑨ を駆使して新しい品種を生み出している。
- 農業の機械化や大規模化が進み、少ない種類の作物が繰り返し耕作されることで、  
⑩ の流出が激しくなった。また大規模な灌漑農業が発達したことで  
⑪ の低下が進んだ。

解答 まず教科書のみ見て解答し、その後に確認すること。

- ①適地適作 ②コーンベルト ③バイオエタノール ④フィードロット ⑤酪農
- ⑥アグリビジネス ⑦穀物メジャー ⑧シカゴ ⑨バイオテクノロジー ⑩土壌
- ⑪地下水位

## 地理 A 課題プリント (1/18~1/22 分) No.2 教科書 P.128・129

準拠ノートを提出して、手元にない人がいますので、同じ内容文章にしてあります。なお、  
すでに授業で学習したクラスの方は復習してください。

- 作業 1 教科書 p128①図を見て、先端技術産業の集積地と、北緯 37 度線を把握せよ。
- 2 ①~④の先端技術産業集積地の地域名を確認せよ。  
先端技術産業は、北緯 37 度より (ア 南) に多いね。

確認 教科書を参考にして、次の文章に適語を記入し、内容を理解しよう。

- 五大湖沿岸は、アパラチア炭田の⑤ とメサビ鉄山の⑥ を  
利用して鉄鋼業の中心地となり、デトロイトでは⑦ を採  
用した自動車産業が発展した。

■1970年代に入ると、国際競争力が低下し、五大湖周辺は⑧

(フロストベルト)とよばれるようになった。近年では、⑨  
を基盤とした工業都市へと変化しつつある。

■先端技術産業は、⑩とよばれる地域に集中している。なかでも

⑪ではアジア系技術者などがその発展を支えている。

■アメリカ合衆国で開発された⑫ (ICT)産業は今や世界標

準となったが、製造のほとんどは⑬など海外の工場で行われている。

■カナダでは1990年代末から⑭の開発が急速に進み、世界第5位

(2016年)の産油国となった。アメリカ合衆国では、2000年代後半から

⑮の生産が始まり、エネルギーの自給率を高めている。

解答 まず教科書のみ見て解答し、その後に確認すること。

⑤石炭 ⑥鉄鉱石 ⑦大量生産方式 ⑧スノーベルト ⑨先端技術産業 ⑩サンベルト

⑪シリコンヴァレー ⑫情報通信技術 ⑬中国 ⑭オイルサンド ⑮シェールガス